

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 5277 URL http://www.spancretecorp.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浮田 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井上 卓郎 TEL 03-5689-6311  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,392	△26.9	△107	-	△97	-	△42	-
2019年3月期第3四半期	3,270	26.8	185	△18.1	202	△16.8	172	△7.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△5.47	-
2019年3月期第3四半期	22.30	-

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第3四半期	7,861		6,545		83.3	
2019年3月期	8,184		6,690		81.7	

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,545百万円 2019年3月期 6,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年3月期	-	0.00	-		
2020年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,084	△26.7	△204	-	△191	-	△94	-	△12.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	9,332,400株	2019年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,538,319株	2019年3月期	1,535,819株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,795,411株	2019年3月期3Q	7,720,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期貸借対照表関係)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境及び企業収益の改善が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しておりますが、米中間の貿易摩擦や英国によるEU離脱問題などにより世界経済全般に先行き不透明な状況が続いております。

この間、建設業界におきましては、東京オリンピック関連工事は一段落ついたものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格は引き続き高止まり、建設技能労働者不足による労務単価は上昇する市場環境が続いております。

このような状況下で当社の当第3四半期累計期間の業績は、不動産事業は堅調であったものの、スパンクリート事業の売上数量が前第3四半期累計期間に対し53.9%減少したことにより大幅に悪化し売上高2,392百万円(前年同四半期比26.9%減)、営業損失107百万円(前年同四半期は185百万円の営業利益)、経常損失97百万円(前年同四半期は202百万円の経常利益)、四半期純損失42百万円(前年同四半期は172百万円の四半期純利益)となりました。

事業別にみますと、主力のスパンクリート事業は、ホームドア向け床材などの物件は比較的好調でしたが、オリンピック関連工事の出荷は前期で終了し、北陸新幹線延伸による防音壁や高層マンションの床等の出荷は来期以降と見込まれるため今期の予定出荷数量を確保できず、売上数量が前年同四半期比53.9%減少しました。その結果、売上高は2,156百万円(前年同四半期比29.0%減)の減収、営業損失206百万円(前年同四半期は営業利益107百万円)となりました。

他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっており、更に、前期に比べて環境整備関連費用の負担が軽減され、売上高236百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益99百万円(前年同四半期比27.6%増)となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ322百万円減少し7,861百万円となりました。

流動資産は、207百万円減少しておりますが、これは主として、現金及び預金が502百万円増加、受取手形が39百万円増加、公社債投資信託の売却により有価証券が285百万円減少、売上債権が485百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、115百万円減少しておりますが、これは主として、有形固定資産が9百万円減少、無形固定資産が13百万円減少、投資有価証券が85百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、174百万円減少しておりますが、これは主として、1年内返済予定の長期借入金が59百万円減少、その他の内の未払金が83百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、3百万円減少しておりますが、これは主として、その他の内の預り敷金が8百万円増加、繰延税金負債が11百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、144百万円減少しておりますが、これは主として、期末配当による77百万円減少、四半期純損失により42百万円減少したこと等によるものであり、当第3四半期会計期間末の残高は6,545百万円となり、この結果、自己資本比率は83.3%(前事業年度末81.7%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年11月14日の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	751,217	1,253,765
受取手形	※ 4,714	※ 43,812
売掛金	1,595,882	1,122,125
完成工事未収入金	20,649	9,170
有価証券	285,000	—
商品及び製品	126,328	125,297
仕掛品	6,998	13,365
未成工事支出金	3,981	4,963
原材料及び貯蔵品	66,130	48,407
その他	31,311	64,019
流動資産合計	2,892,215	2,684,927
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,089,854	1,093,675
機械及び装置(純額)	201,456	181,846
土地	3,052,641	3,052,641
その他(純額)	96,198	102,717
有形固定資産合計	4,440,151	4,430,882
無形固定資産	96,149	82,401
投資その他の資産		
投資有価証券	691,213	605,704
その他	64,683	57,841
投資その他の資産合計	755,897	663,546
固定資産合計	5,292,198	5,176,829
資産合計	8,184,413	7,861,756
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,784	52,694
工事未払金	69,424	60,880
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	59,300	—
未払法人税等	48,170	—
賞与引当金	38,740	21,120
その他	252,641	213,426
流動負債合計	1,023,060	848,121
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
その他	266,180	263,101
固定負債合計	470,963	467,884
負債合計	1,494,023	1,316,005

## (株)パンクリートコーポレーション(5277) 2020年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	3,010,369	3,010,369
利益剰余金	477,966	357,340
自己株式	△353,097	△353,097
株主資本合計	6,431,143	6,310,517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251,579	227,566
土地再評価差額金	7,667	7,667
評価・換算差額等合計	259,246	235,233
純資産合計	6,690,389	6,545,751
負債純資産合計	8,184,413	7,861,756

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 2020年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,270,810	2,392,582
売上原価	2,562,172	1,995,129
売上総利益	708,637	397,452
販売費及び一般管理費	522,745	504,590
営業利益又は営業損失(△)	185,892	△107,137
営業外収益		
受取利息	6,973	7,278
受取配当金	8,488	8,016
仕入割引	2,806	1,678
その他	3,922	4,459
営業外収益合計	22,191	21,433
営業外費用		
支払利息	2,673	2,361
訴訟関連費用	—	7,500
その他	2,700	2,228
営業外費用合計	5,374	12,089
経常利益又は経常損失(△)	202,709	△97,794
特別利益		
投資有価証券売却益	—	50,283
特別利益合計	—	50,283
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	202,709	△47,510
法人税等	30,524	△4,850
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172,185	△42,660

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	4,492千円	8,640千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,037,433	233,376	3,270,810	—	3,270,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,037,433	233,376	3,270,810	—	3,270,810
セグメント利益	107,899	77,992	185,892	—	185,892

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## II 当第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,156,029	236,552	2,392,582	—	2,392,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,156,029	236,552	2,392,582	—	2,392,582
セグメント利益又は損失 (△)	△206,660	99,522	△107,137	—	△107,137

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。